



地域を育み、大陸をつなぐ

BUILDING COMMUNITIES –
BRIDGING CONTINENTS

国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日／1990.2.27
事務所／〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場／新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日／毎週火曜日 12:30~13:30
会長：水谷 善博 幹事：延 秀 恵 会報委員長：内田 正

2010年7月20日 第960回例会(第959号)

○○ 本日の例会 ○○

今週の歌 「 R-O-T-A-R-Y 」

卓 話 「 理論言語学研究の
過去・現在・未来 」

2010 - 11年度国際親善奨学生

依田 悠介君

前回〔7月13日〕例会記録

会長の時間

水谷会長

7月11日(日)に、豊津公園で開かれたクリーン＆リサイクル運動に行って来ました。吹田西RCと当クラブが協賛してやっている事業で、豊津西地区子供会と父兄達が、地元町内から、道端のゴミを拾いながら豊津公園までの清掃活動です。集合して来た子供達に豊津西中学校のプラスバンド部の皆様が数曲の演奏で迎え、東急ハンズ周辺をパレードして終える催しでした。私も以前にも参加した当時に比べ、ゴミは少なくなつて来歩いて、町がきれいになっているのが判りました。来年度も続けて実施されますので、皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

本年度R I会長レイ・クリンギンスミスの問いかげ、「ロータリーとは何か」を簡潔に答えるのは難しいですが、

ロータリーとは慈善活動ではありません。単なる

出席報告

田畠委員長

【7月13日】

在籍会員 42名 (内出席規定適用免除者 10名)
出席会員 34名 (内出席規定適用免除者 8名)
ホームクラブ出席率 85.00%

6月22日のMUを含む出席率 94.87%

○○ 次回例会のお知らせ(7月27日) ○○

卓 話 「 ロータリー(2年、これから)と
仕事 」
成松重人会員

ボランティア活動でもありません。我々は素晴らしい仲間と出会い、人間性を磨き、志の高い企業人として自らを高めると同時に社会に対して奉仕活動を行う。ロータリーは地域社会のボランティアから成る世界的なネットワークです。世界で良い事をするために存在します。事業及び専門職務に携わる120万人の人々からなる国際的な奉仕団体です。世界からボリオを撲滅することが、最優先課題としています。親睦と奉仕を車の両輪のごとくして100年にわたって続いている。

幹事報告

橋本SAA

本日は延幹事がお休みですので代わりに報告します。
地区ロータリー財団セミナーの案内

日時：8月28日(土) 13:30~16:30

場所：大阪Y M C A会館 2Fホール

水谷会長、延幹事、加藤ロータリー財団担当よろしくお願いします。

ニコニコ箱

芳賀会員 今年もよろしく。

今村会員 水谷会長、延幹事始め役員の皆様、
本年度もよろしくお願いします。

金馬会員 早退します。

北村(雅)会員 水谷会長、延幹事ご苦労様です。

北村(康)会員 水谷会長、延幹事、役員の方、1
年間頑張って下さい。

私達は他人(ひと)を思いやり 奉仕の理想のもと 地域社会へ貢献するよう 努めます

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

長島会員 水谷会長、延幹事の門出を祝して。

本日分 48,000円

累計 220,000円

親睦活動委員会

木 元 委員長

夏の家族会のご案内

次週例会より、夏の家族会会費を集金致します。
出席人員、定員に25名位余裕があり、会員の皆様宜しくお願ひします。

奉仕活動委員会

成 松 副委員長

(社会・青少年奉仕担当)

バザー商品提供のお願い

先週吹田R A C会長からも、お願ひがありました
ように、今週(13日)、来週(20日)が、回収日となつております。皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

プログラム委員会

速 見 委員長

「卓話」についてのアンケート集計表(2010.7.12)
現在回答者12名)

【聞きたい卓話】

専門的な、レベルの高い講話

経験談とか、貴重な参考になるお話を
政治家・消防・警察・博物館 吹田市に限らず、
ロータリー会員に聞けない話題
人生の大先輩が、たくさんいらっしゃるので、
その方の人生の転機、成功体験、危機一発の時
など拝聴したい。

自分の業界外の専門知識。

専門的な話

どんなテーマでも聞く側が興味を持って聞くか
どうかだと思います。いろいろご苦労されたことや、また趣味のこと、医学のこと、また気候、
政治、経済、世界遺産や動物 etc何でもテーマ
はあると思います。

政治、経済、科学

女の話し、占いの話。悪人悪魔になれる方法。

賭博、賭けはなぜ人を興奮させるか。

体験談、経験談など。

予算を取り、外部講師による品質の高い卓話、
年1回程度で。

趣味や旅行、美味しい食べ物などの話し。

【ご意見】

単なる世間話的なものでなく、充分準備をいた
だいて、内容のあるお話を期待します。

未だ入会させて頂いて短いためご放免下さい。

例会での卓話の重要性を考えましたら、外部講師をもっと採り入れてほしいと思います。(月
1回程度)

卓話に毎年予算がほしいと思いました。今年度
理事会に一度提案したいと思っています。

卓話は例会時間の半分を占める大切なプログラ
ムです。卓話内容の良し悪しは、クラブの良し
悪し、出席率に比例すると思います。今年は少
し緊張感が足りなかったように思います。

10人ひとがいれば、たぶん最低10個の何か疑問
があるのでは? と思うのです。最近インター
ネットというとてもとても便利なものがあるので、
これを使うと疑問が解明することも多いの
で、いろいろな疑問を拾い集めてみるのもテー
マにつながらないでしょうか?

幼い心の世界に感動を与えた出前授業はすばら
しいプレゼントだったと思います。

15分間と30分間の本人選択制にすればどうか。
年間に何度かでも外部講師の招聘を考えられたい。

予算も有ると思いますが、ゲストを呼んで外の
話しも聞かせて頂ければと思います。

年間1~2回程度有名人の卓話を。

以上を参考に実のある卓話の時間に、と考えてお
ります。

卓 話

「一年を振り返って」

渡辺 忠雄 直前会長

改めまして会員の皆様には前年度1年間、大変お
世話になりました、心からお礼を申し上げます。有り難う
ございました。

少しはのんびり出来るなあーと思っておりましたが、
そう甘くは無かったです。

さて、1年を振り返ってと言うことですが、6月
29日の例会、2週間前に事業報告をさせて頂いたばかりで、何を話して良いのか分かりませんが、長かったなあー、しんどかったなあーの1年でもあり、
終わった今だから言えるのですが、本当にいろいろ
な行事があり、あっという間に時間が過ぎ、短かつ
たなあー、楽しかったなあー? の1年もあり、
いろいろと教えて頂いた1年間でもあったと思って
います。

1年前よりもう少し前からの話をさせて頂きます。
東さんが18代目会長の時、2007年12月11日の年次総
会において次年度会長ノミニーとして選ばれました。
同時に、私の思いは、以前から、是非この人にと幹

事をやってほしいなーと決めておりましたので、西本会員に幹事を引き受けて頂けた時には安心いたしました。

また、その当時は、東会長から八橋次年度会長に、その次が私の番と。未だ1年以上もあるなーと思っていました。それから半年後、今から約2年前の2008年6月に友好クラブであります台北龍門RCの式典に初めて出席させて頂きました。同じ年度に、台北龍門は10周年を迎えますし、それに吹田江坂RCも20周年で記念式典もあることだし、是非とも出席して、龍門RCのメンバーと会っておいた方がいいのではと、東パスト会長にお誘いを頂いたからです。

今思えば、その時からが20周年に向けての始まりだったような気がします。東パスト会長は周年へ向けて、そろそろ心の準備をしどきなさいよと言うことだったと思います。良きアドバイスを頂き感謝しております。

そして、2008年の年次総会が終わり、2009年の始まりとともに20周年に向けての準備が始まってきました。

八橋会長の時には、周年の事業とする関西大学RACの設立準備委員会を作つて頂き、委員長には西上会員になって頂きました。大学側と協議を重ねてRAC設立に向けて、順調に進んでおりました。11月7日に創立総会、12月12日には、認証状伝達式を行つ運びとなつてありましたが、大学側の規約とRACの規約が、相容れない部分があり、本当に一時はどうなるのか？もう無理なのか？と思う時期もありましたが、西上委員長、芳賀パスト会長の並々ならぬご尽力のお蔭で予定通り創立総会・認証状伝達式が出来ることになりました。そして20周年記念式典で周年の事業報告として披露させて頂けたわけです。

また、関大RACの準備委員会が出来た時と同時に20周年の実行委員会も立ち上げさせて頂きました。実行委員長に堀田パスト会長、周年事業担当に寺井会員、式典担当に山崎会員になって頂き、そして、平成22年2月20日の式典に向けての準備が始まつて行きました。1週間・1ヶ月があつという間に過ぎて行き、20周年の式典の日を迎えて、無事終える事が出来ました。

それから、もう一つの委員会ですが、これは、クラブの永遠のテーマであります会員増強です。クラブの5年、10年後の礎のために会員増強推進委員会も設置させて頂きました。この委員会につきましては、八橋パスト会長に委員長になって頂き、単年度

の計画ではなく3年計画の目標をたて、10名の純増を目指し、使命感を持って毎月委員会を開き検討して頂いております。

このように1年以上も前から会員の皆様には助かれ、また、励まされながら、6月末を迎えさせて頂きました。吹田江坂ロータリアンの温かい友情に感謝の気持ちで一杯です。有り難うございました。

毎週、会長の時間での挨拶がなければもう少しやつてもいいかなーと思う今日この頃ですが、後は、水谷会長・延幹事宜しくお願ひします。

「一年を振り返って」

西本 健二 直前幹事

入会以来5年間、ただただ諸先輩方の後ろ姿を追いかけていれば、それだけで楽しいと思える5年間でした。

そんな私が渡辺会長のもと創立20周年の年の幹事を務めさせていただきました。

始まる前は途方もなく長い道のりだと感じておりましたが、終わってみるとやはり長い1年でした。しかしこれほど充足感を感じるとは1年前には思つてもいなかつた事です。貴重な試練と経験を与えていただいた渡辺会長始めクラブの皆様に改めて御礼申し上げます。

まだまだ未熟な私の事、つい言いたいことを遠慮無しに申し上げたり、時には顔に出るようなことがあり不快な思いをさせたこともあったかと思います。これからはいつもの通りの笑顔の似合う私に戻りますが、この場を借りて一言お詫び申し上げます。

今年2月に行われました地区大会での大谷ガバナーのスピーチに次のような一節があります。Love is art of forgiveness 愛とは赦しのアート、即ち赦しの芸術だという名言があります。今後のロータリーライフの中で、たとえ不快なことに出合っても、この言葉を思い出し、赦しを優先させるような人間に自身を成長させたいと思います。

地区大会ではこのような名言と出会えた他にも、フォークシンガーの「イルカ」のコンサートも楽しい思い出として残っております。次の地区大会も楽しみですが、皆様も是非ご出席下さい。と申しますのも3月に「RI会長賞」と会員増強特別委員会の活動を対象とした「会員増強賞」をRIに申請いたしました。結果はわかりませんが、もし受賞すれば地区大会にて水谷会長にご登壇していただかなくてはなりません。水谷会長には余計な仕事を作つてしまうことになるかも知れませんが、受賞を楽しみにしております。

6月には台中恵明学校を訪問しました。視聴覚障害者にリハビリ器具を贈る事業を台北龍門他数クラブとMGを組み当クラブの世界社会奉仕事業として行っているのですが、他国のクラブと組めば日本国内の困っている人達にもR I の補助金で事業が出来るという新たな発見を致しました。

関西大学R A C、20周年式典、出前授業、京都デー等々は皆様よくご存じの事で申し上げませんが、当クラブの奉仕事業も随分多彩になって参りました。それにともない経費も必要になってくると思います。そんななか昨年度のニコニコ箱を締めてみますと、168万円にものぼりました。過去5年間で最高の数字だそうです。本当に頭の下がる思いです。私も出過ぎない程度に見習います。今年度は168万円を更新したいものです。

最後に渡辺会長、本当に色々なことがありました。渡辺直前会長はまだ年も若いし気力も漲っておられます。もし近い将来ガバナーでもされるようでしたら、その時は喜んで又お手伝いさせていただきます。1年間本当にありがとうございました。

マーカリー財団の奨学金

ロータリー財団国際親善奨学金は、ロータリー財団の最も古く、よく知られているプログラムで、1947年に創設されました。今日では、民間団体が提供する海外留学奨学金としては、世界最大のものとなっています。

世界中の会員からの寄付は、今日の国際親善奨学生が、明日の地域社会と国際社会のリーダーとして育っていく、という信念を表しています。

ロータリー財団国際親善奨学金の目的は、異なる国や地域の人々の間に理解と友好関係を推進することです。このプログラムは大学学部生や大学院生のほか、職業関連の研究を希望する有資格の専門職業者を対象に、数種の奨学金を提供しています。

留学中、奨学生は国際親善使節としての役割を果たし、ロータリークラブやその他の団体で、母国に関するスピーチや発表を行います。帰国後、留学中の体験談をロータリークラブの会員やそのほかの人々に話します。

それぞれの地区で扱っている奨学金の種類や、申請日、試験日などが地区によって異なりますので、詳細は、各地区のガバナー事務所にお問い合わせください。

歴史に残る1ページ：ロータリーの標語

国際ロータリー・ニュース : 2010年7月6日

ロータリーの公式標語「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の歴史は、ロータリーの初期の頃にまでさかのぼります。

1911年、オレゴン州ポートランドで開催された全米ロータリー・クラブ連合会の第二回ロータリー大会で「He Profits Most Who Serves Best」がロータリーの標語として承認されました。これは、前年にシカゴで開かれた第一回ロータリー大会で、ロータリアンのアーサー・フレデリック・シェルドンが行った演説を基に作られた標語です。シェルドンはその演説の中で次のように語っています。「他者に対する正しい経営の科学のみが引き合うのだ。経営とは人間的な奉仕の科学である。その仲間に最もよく奉仕する者が最も多く報いられる」

ポートランドでのロータリー大会は、もう一つの標語「超我の奉仕」が誕生するきっかけともなりました。大会中にコロンビア川でボート乗りを楽しんでいた米国ミネソタ州ミネアポリス・ロータリー・クラブの会長、ベン・コリンズは、シアトルのロータリアン、J.E.ピンカムと、ロータリー・クラブを組織するのにふさわしい方法について話し合っていました。その中でコリンズは、自分のクラブで採用していた理念「無私の奉仕（Service, Not Self）」を紹介しました。ピンカムは、同じボートに乗っていたポールP.ハリスを呼んで会話を続けました。ハリスから依頼されコリンズは大会で演説を行い、この文言「無私の奉仕」が熱烈に歓迎されたのです。

この2つの標語は、1950年にデトロイトで開催されたR I国際大会で、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる(He Profits Most Who Serves Best)」と「超我の奉仕(Service Above Self)」に修正され、ロータリーの公式標語として正式に承認されました。1989年の規定審議会では、「超我の奉仕」がロータリーの第一標語として採択されました。これは、この言葉が利己的でないボランティア奉仕の哲学を最もよく言い表しているとの理由からです。一方、「He Profits Most Who Serves Best」は、2004年規定審議会で「They Profit Most Who Serve Best」に修正され、さらに2010年規定審議会で現在の標語「One Profits Most Who Serves Best」となりました。

ロータリーの歴史についての詳細は、ロータリーの歴史のページ、またはロータリー世界史親睦グループ（英語）のウェブサイトをご覧ください。